

当院に入院中に容態が急変された患者さんの情報の研究利用についてのお知らせ

この度国立病院機構東京医療センター救急科では、「当院の院内急変の現状調査」を行うことになりました。

この研究の目的は、当院に入院中に急変された患者さんの診療情報を調べて、原因やその後の転帰を明らかにし今後の対応に活用することです。

この研究のため、当院に入院中に急変された患者さんの調査をおこないます。対象は2021年4月1日より2025年3月31日までに入院中に容態が急変し救急科が緊急対応した患者さんになります。診療記録を用いて、入院時診断、急変時診断、急変前後の状態、その後の転帰など調査を行います。調査項目は個人情報を含まない医学的な情報のみです。患者さんのお名前、住所などのプライバシーに関する情報が外部に漏れることは一切ありませんのでご安心下さい。

調査したデータは、本研究の責任者のもとで厳重に管理されます。今回の研究で得られた結果に関しては、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告されることがあります。

ご自身のデータを研究に利用することを承諾されない方は下記にご連絡下さい。その場合も、診療上何ら不利な扱いを受けることはありません。

この件に関しましてご質問等がございましたらご遠慮なくお尋ね下さい。

2025年4月

研究責任者

東京医療センター 救急科

木村 慎一

連絡先 03-3411-0111(代表)